

今年離任された先生からのメッセージです

丸山 達也 校長先生

将来の予測が極めて困難な現代は、VUCA時代と言われています。私は、このような変化の激しい時代に活躍するためには、特に、新たなものを創り出す姿勢「チャレンジ精神」が必要だと思っています。もちろん、チャレンジには失敗もつきものです。しかし、たとえ失敗しても、その失敗から学ぶ姿勢を持っていれば、必ず良い方向に自分を変えることができます。皆さんにはいろいろな可能性があります。これまで自分が無意識に設定した限界という壁を取り払い、今までの自分から抜け出して、新たな自分を発見しましょう。自分の可能性を信じて、失敗を恐れず、いろいろなことに精一杯チャレンジしてくれることを願っています。

山中 達也 教頭先生

前回の勤務と合わせて、三島高校に11年勤務させていただきました。自分の教員人生の中で、最も長く在籍した学校である分、思い入れがあります。本校は、亡くなった母親の母校でもあり、前回の赴任（2007年）の際、私が本校に勤務することを母がとても喜んでいたことを思い出します。二回目の勤務となった今年度も、文武両道を目指して真摯に取り組む生徒の皆さんの姿勢と、先生方の熱心かつ丁寧なサポートとがあいまって、「夢をかなえる」三島高校の伝統がしっかりと引き継がれていることを実感しました。4月から勤務する土居高校は前任校であり、父親の母校でもあります。四国中央市に勤務した3年間の中で、先生方や地域の方々から教え、支えていただいたことを胸に刻み、新たな思い入れを持って取り組んでいきたいと考えています。この一年間、誠にありがとうございました。市内3高校に係る行事等で、またお会いしましょう。

森脇 由衣 先生

私の教諭として初めての赴任校が、この三島高校です。南予から四国中央市へ来たときは不安でいっぱいでしたが、皆さんの明るい笑顔とさりげないやさしさのおかげで、充実した三島ライフを過ごすことができました。三島高校で過ごした「3年間」は、本当にあっという間の時間でした。私は、少しの努力の積み重ねが、何気ない「3年間」を、決して忘れることのできない特別な「3年間」に変えてくれると信じています。皆さんの「3年間」が、日常を超える日常になることを心から祈っています。

小原 秀雄 先生

縁があり四国中央市に赴いて10年が経ちました。振り返ると、この街でたくさんの方々と充実した時間を過ごせたことが脳裏を駆け巡ります。保護者の皆様、部活動、HR、授業でかかわった生徒の皆さん、地域の行事、体育館、バレーボール協会、中学校の先生、塾の先生お世話になること、教えてもらえることばかりでした。皆様に、この街に感謝しかありません。本当にありがとうございました。いつかまたこの街に帰って来たいと妻と話しています。またお会いできる日を楽しみにしています。



福永 大河 先生

人は必要なときに必要な人と出会うと思っています。たった1年でしたが、それは長くも短くもなく、ちょうど良かったのだと信じています。多くのことに挑戦する皆さんに背中を押され、私も次のステージへ進むことができました。私はそこが希望に溢れているものだと信じていますし、私が決めたことですので責任をもって進みます。本当にありがとうございました。

松本 秀樹 先生

1年という短い間でしたが、諸先生方をはじめ、生徒・保護者の皆様には、大変お世話になりました。この1年間、楽しく有意義な時間を過ごすことができ、感謝の念に堪えません。次年度からは、川之江高校で、教鞭をとりますが、初心を忘れず、常に学び続ける教師でありたいと思います。またお会いできる日を楽しみにしております。

長野 美紀 先生

4年間ありがとうございました。今回の異動で今治北高校に転勤することとなりました。私にとって高校3年間は宝物です。皆さんにもそうなってもらいたいです。そのためには、まず皆さんの健康が第一です。自分自身を大切にしてください。そして、家族や友人といった、皆さんを支えてくれている人たちほど大切な存在です。甘えすぎず、その人たちに何ができるかを考えながら、良い人間関係を築いてほしいです。今後、皆さんにとって本気で頑張れるものを見つけて、高校3年間で充実したものになるよう強く祈っています。ありがとうございました。

